

第一部

オラトリオ「種を蒔く人のたとえ」

<PARABOLA SEMINANTIS> no.7
Il giovane (青年) 太田賢治
Lo storico (ナレーター) 二宮周平
Gesù (イエス) 佐藤巨克

アルプスの聖母

LA MADONNA DELL'ALPE no.26
ソプラノ 相馬宏美
メゾソプラノ 新明裕子
アルト 菊池有里子

独唱 バリトン 川田知洋
兄弟 no.700
むぎまき no.760
ねんねんころりよ no.738

第二部

オペレッタ「丘の上の十字架 - 平戸のキリシタン」

<LA CROCE SUL COLLE> no.18
Koteda Saemon (籠手田サエモン) 福井良太郎
Tobia, il cieco (トビア盲人) 島田道生
Fanciullo (子ども 盲人の案内者) 真木 茜
Bonzo capo (僧侶) 太田賢治
Indemoniato (悪魔つきの男) 二宮周平
(悪魔) 佐藤巨克

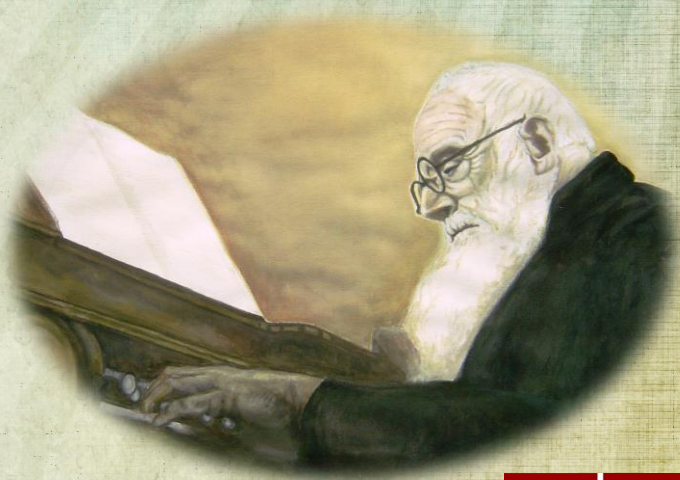
司会・解説 森美智子

指揮 伏木幹育神父
ピアノ 石川百合子、水谷直子
フルート 笹平道子
コーラス カトリック下井草教会聖歌隊
カトリック調布教会聖歌隊
カトリック碑文谷教会聖歌隊

チマッティ・コンサート

Cimatti Concert

オラトリオとオペレッタ



協力：イタリア文化会館

2012.
11/23 (金・祝)

開場 13:30 開演 14:00

イタリア文化会館アニエッリホール

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30

入場無料 (列福運動のため 献金をお願いします)

主催：チマッティ資料館チマッティ音楽の会

〒182-0033 東京都調布市富士見町 3-21-12

調布駅より徒歩 15 分

<http://www.v-cimatti.com/>

お問合せ：042-482-3117/db@v-cimatti.com



地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅より徒歩 10 分
駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください

ヴィンチェンツォ・チマッティ神父は1926年サレジオ会員として来日し、1965年86才で神に召されるまで、心から日本を愛し、宣教師として活動を続けました。王立バレル音楽大学にてマエストロのディプロマを受けた、その類稀な音楽の才能から、生涯に950曲も作曲し、日本各地で2000回以上にも上る演奏活動を行いました。作品には50ほどのオラトリオとオペレッタがあり、日本最初のオペラ「細川ガラシア」を作曲した方でもあります。

プログラムについて

第一部には、まずマタイによる福音書13書にある「種蒔きのたとえ」のオラトリオが歌われる。福音書の言葉に、コメントとして聖書の他の箇所の言葉が加えられている。これは1958年3月9日、チマッティ神父の指導のもとでコンプリ神父の叙階式の時に調布で上演されたものである。

次は1957年に上演されたオペレッタ「アルプスの聖母」であるが、これは以下のかわいい物語に基づく。——アルプスの中腹にマリアにささげられた小聖堂があり、そこに仙人が住んでいた。毎年7月に信者が祭りのために上ってくるが、ある年、祭りが終わると、仙人は献金を安全な所に隠して信者たちを見送った。その間にマリア様の絵画に描かれている天使が降りてきて、歌を歌い、そのまま跪いて祈る。その時、子どもを連れた泥棒が入り、子どもにお金を盗らせようとする。子どもは天使が見えるが、泥棒には見えない。子どもは天使の顔に自分の本来の罪のない姿を見て、金を盗ることを断って逃げる。天使は子どもの姿に変わり、なお金を盗らせようとする泥棒を諭す。その時、聖堂の鐘が鳴り出す。天使は絵画の中、マリア様のそばに戻り、駆けつけた仙人と人々によって泥棒は改心する。歌は4曲だけである。

第一部の終わりは、チマッティ神父の3つの童謡が歌われる。



1955年に「丘の上の十字架」が上演された際の写真
(左端) タシナリ神父 (中央左) チマッティ神父

第二部のオペレッタ「丘の上の十字架」は1955年チマッティ神父のミサ50周年に上演されたもので、故タシナリ神父の脚本に基づいて、1559年に平戸で起こった実際の出来事を描く。

領主松浦隆信は外国の船が平戸に来なくなったことで僧侶に唆されて宣教師を追い出し、聖堂も焼かれる。

第一幕はお寺の前で行われるが、そこには鬼たちが住むと言われる洞穴があり、その踊りで始まる。仏教の巡礼者も訪れてくる。領主松浦隆信の有力な家来籠手田サエモンはキリスト教に魅力を感じ、キリシタンを守る。キリシタンは丘の上に十字架を建て、そこを祈りの場とする。そして、子どもに道案内されるリュートの名人、盲人トビアが籠手田サエモンを信仰へ導く。悪魔たちはサエモンに誘惑をかけて強く抵抗し、丘の上の十字架も悪魔付きの人に倒される。最後にお寺も火災にあい、焼かれてしまう。

第二幕は、信者たちが建て直した十字架の前で行われる。信者の若い女性マリア・オセンは、仕えている家の主人から信仰を禁じられるが、本人は朝早く十字架の元に来て祈る。ついに主人に見つかって、十字架の下で殺される。祈りに来た信者たちは、その遺体を囲んで、日本の最初の殉教者をたたえる。

チマッティ神父とタシナリ神父

今年1月27日、100歳になる間際、キリシタンの研究家で、多くの脚本を書いたタシナリ神父が帰天しました。その思い出にこのオペレッタを上演し、師が書いた『殉教者シドッティ』という貴重なキリシタン屋敷の研究を出版しました。

なお、2011年9月に出版された『チマッティ神父本人が書かなかった自叙伝』上巻に続いて、今年中に下巻も出る予定です。戦前、戦中、戦後の氾濫に満ちたチマッティ神父の生涯を知るために、本人の言葉で書かれたこの2冊の本は必読です。

○2012年4月発売○
殉教者シドッティ
新井白石と江戸キリシタン屋敷
—研究と戯曲—
タシナリ神父著
ドン・ボスコ社 900円(+税)



2012年末
下巻発売
予定

○2011年9月発売○
チマッティ神父
本人が書かなかった自叙伝(上)
ガエタノ・コンプリ神父翻訳
ドン・ボスコ社 1800円(+税)

